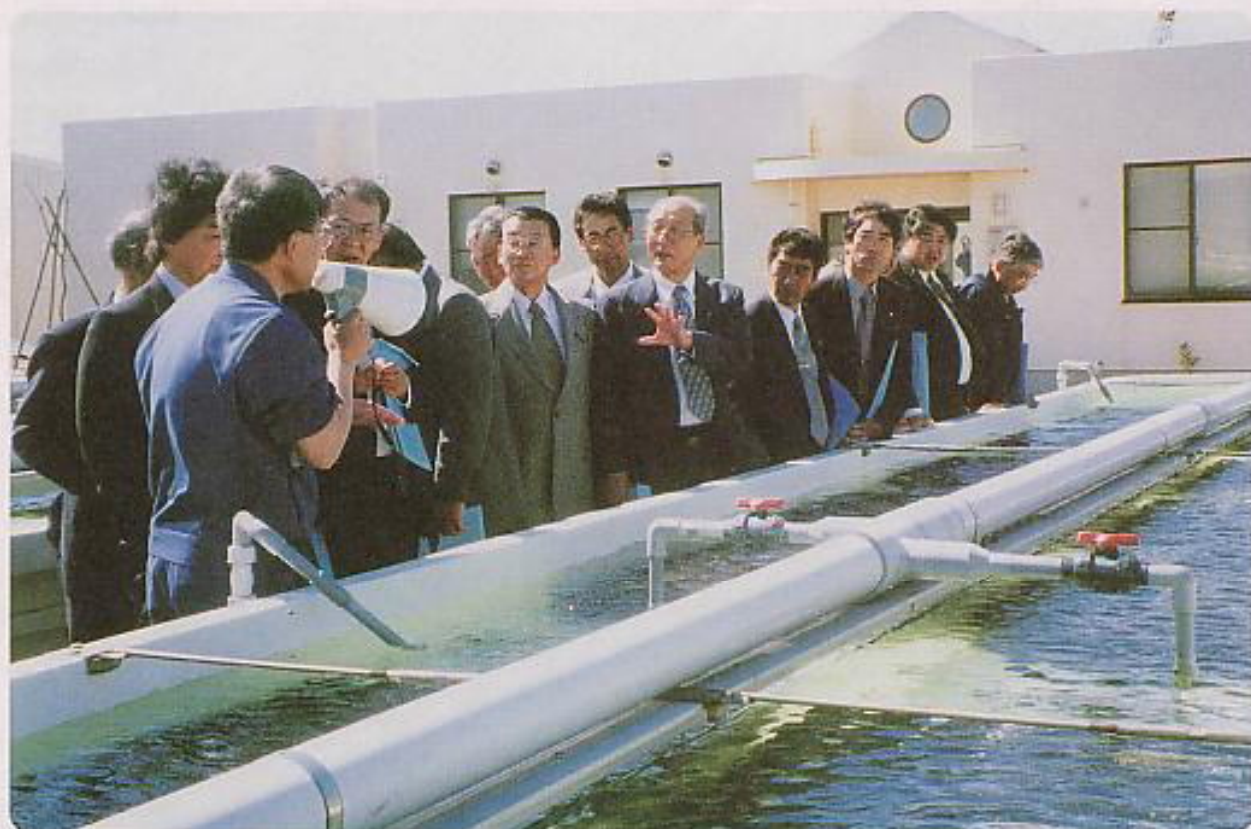


さい、議会だより



北通り種苗育成センターを視察：大間町

6 月定例会

診療所の
累積赤字

1 億円超える …4 ページ

国保税が大幅アップ …5 ページ

一般質問に4人登壇 …9 ページ

道路整備で意見書提出

自動車は生活に欠かせない足



国道338号特殊改良工事：礪谷地内

六月定例会は六月十七日から十九日まで三日間の日程で開かれました。

今定例会には国民健康保険税の一部を改正する条例のほか二件の条例案、平成十四年度一般会計補正予算のほか特別会計補正予算、専決処分五件などが特別委員会で審議され、六月十九日の総括審査において原案のとおり可決しました。

また、当村は公共交通機関が発達していないため、自動車が生活に欠かせない足となっており、道路整備は最も重要な施策です。

「潤いと活力に満ちた地域づくりや豊かな暮らしづくり」を推進するためにも道路整備は不可欠であることから、六月十九日の本会議において、道路特定財源制度の堅持及び道路整備の促進に関する意見書を国の関係機関に提出することを決定しました。

*意見書とは

議会の権限の一つとして、村民皆さんの幸福や利益のために関係行政庁に対して意見書を提出することができます。

海峡ミュージアム これからの運営に期待



ボランティアの協力で開館：海峡ミュージアム

山口議員

海峡ミュージアムの運営がボランティアの人たちや裂織りグループの協力によりできたということで、有意義だと思っている。

また、展示物も模様替えされているが、地元の土器、掛け軸などに説明書がないので、その点に気配りをしてほしい。

なお、入館料が無料という点もあり、一日百人以上の入館者があつたと聞いている。ボランティアの方々の協力を得ながら運営に努めて欲しい。

講習会を 開いてみたい

村長

海峡ミュージアムの運営についていろいろ心配をかけたが、裂織りグループの方々の協力を得て月曜日から金曜日までは無料奉仕、土曜日と日曜日は謝礼金でお願いをしている。

また、ボランティアの方々と一緒に会し、展示品の説明及び由緒などの講習会を開いてみたい。

前向きに 検討する

教育次長

海峡ミュージアムの展示物の書画、骨董の所有に至ったことを明確にすることは難しい点もあるが、所有者に支障のない範囲で協議しながら前向きに検討したい。

入館者は四月二十七日から五月二十九日までの開館で約二千名と、極めてうれしい結果が出ている。

これからも当村の文化財、伝統的な歴史を十分知っていただくよう配慮する。

診療所の 累積赤字

1億円超える

診療所自体でも一般経費、材料費の節減に努めると同時に先生方も相当努力致しているが、診療所自体の自助努力では到底この赤字を解消することは容易でない状況である。

昨年の九月議会でも同様の質問をし、村長から前向

村長

可能な限り
支援したい

きた答弁を得ているが実行されていない。

診療所の経営改善には村の財政支援は不可欠だと考えている。佐井診療所の経営の安定対策を伺いたい。

島野委員

佐井診療所の平成十三年度の赤字額は三千九百二十万円で、前年度までの累積赤字額六千三百三十万円と合わせて一億二百二十八万円である。



経営の安定が望まれる佐井診療所

経営安定に
努めるべき

先生を始めスタッフも随分努力している。それに報いるためにも経営改善に努力しながら、可能な限り財政支援をしたいと考えている。

島野委員

財政の厳しいことは、今に始まったことではない。財政対策を講じることが重要である。

診療所は村として絶対に必要な施設なので、経営安定に努めるべきである。



楽しかった大運動会

保育料の
滞納状況は

福田委員

保育料の滞納は、発生しているか。

健康福祉課長

滞納解消に職員が回っているが、全額徴収できずにいる。

ただ、滞納者のなかには毎月三、五千円位づつ納入している方もある。

海峽ミュージアム

条例改正
必要ないか

福田委員

海峽ミュージアムを無料で開放しているが、条例では有料で運営することになっている。

条例は改正されていないが問題はないのか。

館長の裁量で

今年度は無料

教育次長

今年度は緊急の事態での開館業務となっており、規則上での海峽ミュージアムの館長の裁量において今年度の入館料は無料とした。

国保税が大幅アップ

川畑委員

国民健康保険税の改正により、標準家庭ではどの程度高くなるのか。

4人家族で

約十二万二千円増

住民課長

夫婦子供二人世帯で所得割で十三万円から二十万円、資産割は改正がなく一

万円、均等割が八万四千円から十二万円、平等割が三万円から三万九千円と改正になる。

また、介護保

険料は所得割一万七千円が二万円、均等割一万五千六百円が一万九千二百円に改正になり、全体で十二万一千六百円の増額改正となる。

夫婦子供2人世帯（介護給付金課税被保険者2名）の試算表

- ・医療分被保険者数 4人
- ・介護分被保険者数 2人
- ・医療分所得課税標準額 200万円
- ・医療分資産課税標準額 5万円

	現 行	改 正	増 額 分
医療所得割額	130,000円	200,000円	70,000円
医療資産割額	10,000円	10,000円	0円
医療均等割額	84,000円	120,000円	36,000円
医療平等割額	30,000円	39,000円	9,000円
介護所得割額	17,000円	20,000円	3,000円
介護均等割額	15,600円	19,200円	3,600円
合 計	286,600円	408,200円	121,600円

徴収が心配

川畑委員

この増額改正により被保険者の負担は大変であると同時に、果たしてスムーズに徴収できるか心配だが、徴収方法を考えているか。

鋭意努力し

徴収にあたる

村 長

国保の被保険者は主に農林漁業者が対象であり、徴収に当る職員も大変だが、鋭意努力して納税者の理解を得て徴収にあたる。

村営牧場じゃなかったの？



原田牧場

坂井委員

野平牧場はこれまで村営牧場ではなかったのか。

条例が

未整備だった

産業振興課長

野平牧場は、条例の未整備から村営牧場になっていなかったため、今回条例を整備するものである。

条例違反に

ならないか

坂井委員

村営牧場として認定されていないところから使用料

を徴収した場合、条例違反にならないか。

運用面で徴収

産業振興課長

条例違反と言えはそうなるのかと思われるが、長い経緯の中で運用面で徴収している。

冠婚葬祭

簡素化実施へ



田中正行議員



最近の結婚式は近隣のホテルがほとんど

田中正行議員

冠婚葬祭の簡素化は並大抵なものではなく、地区で話し合っても隣近所の付き合いを失う、そんなこと決める必要はないと言われたこともあったが大方簡素化については大賛成で、随分細かなことまで簡素化したつもりが、今日に至っては簡

素化も死語になっている。

ところが最近、佐井村地域婦人団体連合会の提唱で入院のお返しは止める簡素化運動が行われている。村長は冠婚葬祭の簡素化について、どのように考えているか。

啓発活動

一層進める

村長

当村では結婚祝金支給制度を設定し、公共施設使用料金の免除などを講じてきたが、近年は施設整備が整った近隣市町村のホテルを利用するのが大多数で、村内で披露宴を行う事例は極めて少なくなっている。

葬祭は生花、盛かごは一部に留め、花輪ボスターの利用を進めている。法要の際は食膳代を定額で負担いただく方式が行われるようになっていく。

入院見舞いのお返しは文書で答礼に留めるよう佐井村地域婦人団体連合会で提唱し、「広報さい」でも呼びかけている。

今後とも各団体への啓発活動をより一層進める。

問題提起し

進めるべき

田中正行議員

冠婚葬祭の簡素化を行政が問題を提起し、簡素化を進めるべきと思う。

基準設定

強制できない

村長

それぞれの家庭には歴史的な付き合いがあり、家庭事情も千差万別である。行政が一律一定の基準を設定することは困難であり、強制できない。

簡素化は

足並み揃えて

田中正行議員

婦人団体、公民館、行政連絡員の会合などで簡素化を話題にして、簡素化を進めるきっかけを作りたい。

簡素化は、村内足並みを揃え、「広報さい」に掲載し、村民の理解を得ながら進めてほしい。

啓発活動に

努力する

村長

あらゆる会合を通して、根気強く啓発活動に努力する。

不安が日増しに 深刻な失業者対策

坂井議員

長引く経済不況を受け、企業倒産が相次いでいる。特に郡内では建設業界の倒産が目立っており、それによる失業者とともにリストアップによる失業者が増えている。

一家の大黒柱として生計を担っている人も多く、現金収入もなく将来への不安が日増しに強まっている実情をどのように捉え、失業者対策をどのように考えているか。

公共事業

早期発注する

村長

下北管内の建設業などの倒産が相次ぎ、当村の雇用と経済情勢に大きな影響を受けている。特に牛滝地区の人たちは直接影響があり、大変だと心を痛めている。

雇用対策を当面の重要課題として公共事業の早期発注にも配慮する。

村内企業に

要請すべき

坂井議員

失業者の雇用対策として何らかの現金収入が得られるものを検討してほしい。村内の各企業に対して、このような失業者を優先的に雇用できないものか要請すべきである。

現状説明し

要請している

村長

村内の業者も自分が抱えている従業員で精一杯の状況であるが、先般、ある社長には現状を説明し、要請している。



坂井文明議員

下北ブランド研究開発センター

積極的な活用を



下北ブランド開発センターを視察

ホヤ塩辛

など試作

村長

当村ではいち早く佐井村漁業協同組合の加工場がホヤの塩辛とキムチ風味を試作している。

また、同センターからは漁協加工場、川目林産加工施設、下北ヒバ工業組合に対して巡回指導を受けている。

広くPR

すべき

坂井議員

一年経った段階でホヤの塩辛とキムチ風味だけでは、少し利活用が少ないように感じる。もっと広く村内にPRすべきである。

部会結成し

進める

産業振興課長

当村でも早い時期に部会を結成し、ブランドセンターの指導員を招き指導を受けながら進める。

カレント

まだ誘置企業が

川畑議員

誘置企業が現在地に新社屋を建築し、従来の金属部品製造を行う約束はすだが、操業はしているか。また、新社屋の土地代はいくらか。

金属製造業

休業状態

村長

金属製造業は休業状態だが、工場再開のため鋭意努力する旨の報告書が三月一日付けで提出されている。

土地代は

年額2万4千円

産業振興課長

土地代は年額二万四千四百円で、十二年度、十三年度は完納されている。

誘置企業

認められるか

川畑議員

誘置企業が休業状態の中、誘置企業として認めて行くのか。

位置付け

協議する

村長

この不況のなか、金属製造業は無理ではないかと考えている。

会社の定款を見ると、いろいろな仕事ができるようになっていて、誘置企業として位置づけられるかという点、不可能に近いと考える。

社長、専務と誘置企業としての位置付けを踏まえ、協議する。

定款を

変更したのか

川畑議員

金属部品製造のほか水産物の販売、老人介護関係のサービス業もあるようだが、途中から定款に加えたのか。

判断つきかねる

助役

途中で登記上の変更が行



川畑勲夫議員

われたのかは判断つきかねる。

貸付金の

償還状況は

川畑議員

平成十年度に村の産業資金七百万円を貸付けたが、その返済に困り前村長の裁量で月二万円の返済になっているが、その納入状況と償還金の合計額はいくらか。

トータルで

三十万円償還

村長

貸付金は毎月二万円納入され、トータルで三十万円償還になっている。

どの事業も

できない場合は

川畑議員

金属製造業もそれ以外の事業もできない場合は、どのように対処するのか。

業務できるか

結めたい

助役

村としても貸付金の返済が滞ると困るので、できるだけ新社屋を有効に活用し、定款に定めている業務、地元雇用ができるのかも合わせて結めたい。

山野草を守れ

川畑議員

当村は山野草や山菜が豊富で、数年来、入林者が急増し、盗掘には目に余るものがある。

防止対策など

協議した

産業振興課長

山野草盗掘防止対策会議で今後の盗掘防止対策などを協議し、その後、原田から牛滝まで国道沿い、林道、各河川の流域をパトロールし、啓発活動も行った。

また、県、森林事務所、村の三者合同で看板を設置している。



盗掘防止を呼びかけ看板設置

市町村合併

将来展望開けるか



島野満義議員

島野議員
県では六十七市町村を十一ブロックに分けた市町村合併を提示し、むつ下北は十万人規模の都市を目指す合併の形態となっている。村長の合併についての認識と、合併研究会の内容を伺いたい。



市町村合併研修

真剣に検討

すべき時期

村長

市町村合併は、地方分権にふさわしい地域の将来像のあり方について真剣に検討すべき時期にきている。むつ下北地域市町村合併共同研究会の創立会議が開催され、市町村合併について管内の現況及び将来性を勘案しつつ、合併効果やビジョンを検討し、合併に関

する調査、研究を行うための規約などを審議した。

合併促進の認識は

島野議員

合併を促進しようとする認識があるのか。

意見を徴し

結論出す

村長

各地域に入り説明を申し上げ、各般の意見を徴し、それから結論を出したい。

三ヶ町村研究会

作るのか

島野議員

平成十七年三月三十一日が法定期限であり、それを展望した場合、各市町村の首長はその考え方を認識しなければ立ち遅れが懸念される。

県が示したむつ下北一円の合併と、大間、風間浦、佐井村の三ヶ町村の合併の類形も提示されているが、共同研究会とは別に三ヶ町村研究会も作るのか。

共同研究会と

平行して研究

村長

三ヶ町村が合併になった場合、どのようになるのか模索し、共同研究会と平行

深刻な嫁不足

島野議員

これまで嫁対策を進めて来たが、ほとんど実効のないまま今日に至っており、市内に国際結婚対策室を設け、深刻な嫁対策を積極的

対策室は

設置しない

村長

嫁対策は当村にとって最も重要な課題の一つであるが、国際結婚対策室を設置せず結婚希望者、仲介者との架け橋の役割を果たしたいと考えている。

産業振興にも

大きな影響が

島野議員

佐井村には結婚適齢期と

して研究して行くべきだと考えている。

いわれる未婚の男性が二百五十人程度いると言われている。その対策を講じなければ、村の産業振興にも大きく影響し、後継者も無くなる。

また、役場内に国際結婚嫁対策室を設置することによってマスコミが良い面でも佐井村に目を向けてくれることも期待できる。

嫁対策

課長全員で対処

村長

先般の庁議において嫁対策の窓口は総務課に置き、課長全員で対処することを決定している。今後の参考意見として何ておく。

間発
大原

準備工事を視察

用地の買収が進まず一時準備工事が中断されていましたが、今年度から付替国道338号、発電所進路、港湾工事が再開されたのを受けて、六月十七日、本会議終了後、議員全員で現場を視察しました。

また、北通り種苗育成センターも合わせて視察しました。



展望台にて港湾工事の概要の説明を受ける



北通り種苗育成センターポンプ室



改修された薬師山の階段

改修された 薬師山の階段

今定例会には、山村広場施設設置条例を森林公園設置条例と題名を改正する条例が提出され、特別委員会の各課審査では、展望台から御堂までの未整地の部分、道路整備できても車が入れない状態であること、休憩所や山村広場までの遊歩道の整備など質問が相次いだことを受けて、六月十九日、全議員が森林公園を実際に歩いて整備状況を確認しました。